

関西運動記者クラブとの懇談会

第59回西日本実業柔道団体対抗大会開催に向けての記者懇談会は、2019年4月22日（月）18時からホテル阪神（大阪市福島区）において開催された。関西運動記者クラブからは全国紙、ブロック紙、通信社の報道記者5名に出席いただいた。

当連盟からは、森会長をはじめ、瀬戸口理事長、田中事務局長等連盟役員8名が出席した。

また、今回は特別ゲストとして、全日本柔道連盟審判委員会委員長 大迫明伸氏（1988年ソウルオリンピック男子86kg級銅メダリスト）をお招きし、スピーチをいただいた。

森会長の挨拶の後、田中事務局長から第59回西日本実業柔道団体対抗大会の大会要項、大会組合わせ、トピックについての説明があった。また、今年は世界柔道選手権東京大会、来年は東京オリンピックが開催されることから、今年から来年にかけての連盟関係行事について、それらに絡めて説明があった。



特別ゲストの大迫明伸氏からは、国際ルール改正の動きと日本柔道の展望について、国際柔道連盟スーパーバイザーとしての立場から、現在の取り組み状況



や今後の見込みなどについてスピーチをしていただいた。特に、新たに施行された柔道着の乱れに対する新たな罰則（指導）について、その意義や効果も含めて詳しく説明いただいた。その後報道各記者から質疑が行われた。

その後の懇談会では、森会長の乾杯の発声後、懇親の小宴を持った。会場では、大迫明伸氏を囲んでの質問等で懇談の場が盛り上がり、大変有意義な会となった。

以上